



様式第1号

令和5年4月13日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員 西田文子  印

調査研究、研修会、要請、陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

- | | |
|----------------|---|
| 1 区 分 | 調査研究 研修会——要請——陳情活動 |
| 2 訪 問 先 | <u>三重県多気町VISONと多気町役場・多気町議会</u>
<u>三重県伊賀市 三重中央開発</u>
<u>大阪府高槻市 真庭市場1号店</u> |
| 3 内 容 | <u>大型商業リゾート施設VISON視察と</u>
<u>町の企業誘致取り組み</u>
<u>三重中央開発視察</u>
<u>真庭市場の視察</u> |
| 4 行 程 | 別紙のとおり |
| 5 事務局から訪問先への依頼 | 必要 ・ 不要 |

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



行程表（令和5年5月30日、31日）

日付	時刻	分類	内容	備考
5/30	7:30	移動 (自動車)	久世本庁→久世IC→勢和多気IC	米子道、中国道 名神、新名神 伊勢道、紀勢道
	13:30	視察	多気町が誘致したデジタル田園都市国家構想大型商業リゾート施設VISON視察	VISON 住所：三重県多気郡多気町ガイッ672-1 TEL:0598-39-3330
	16:00	視察	多気町企画調整課、町の企業誘致の取り組み 多気町議会、議会改革	多気町役場 住所：三重県多気郡多気町相可1600 TEL:0598-38-1124 TEL:0598-38-1111 (総務)
	17:00	移動 (自動車)	勢和多気IC→伊勢西IC ホテル：三交イン伊勢（泊）	伊勢道経由 ホテル住所：三重県伊勢市宮後1-1-1 TEL:0596-20-3539
5/31	7:30	移動 (自動車)	ホテル三交イン伊勢→伊勢西IC→伊勢関IC	伊勢道経由
	10:00	視察	真庭市の焼却灰の処分状況と三重中央開発の視察	三重中央開発 住所：三重県伊賀市予野字鉢屋4713 TEL:0595-20-1119
	14:00	移動 (自動車)	白檜IC→茨木IC	名阪国道、西名阪道、近畿道経由
	16:00	視察	真庭市場 1号店視察	真庭市場 住所：大阪府高槻市高槻町14-30 TEL:072-668-7735
	18:00	移動 (自動車)	茨木IC→久世IC→久世本庁舎	名神、中国道、米子道 経由
	21:00		本庁舎 着	

参加議員名簿

日にち：令和5年5月30日、31日

No.	名 前	会 派 名	備考
1	うじひら 氏平 とくまさ 篤正	りよく 緑 しん 真 かい 会	
2	にしだ 西田 ふみこ 文子	りよく 緑 しん 真 かい 会	代表者
3	もりわき 森脇 まさかず 正和	りよく 緑 しん 真 かい 会	



様式第2号

報 告 書

令和5年 6月 8日

真庭市議会議長 小田康文 様

報告者 真庭市議会議員 氏名 西田文子 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和5年 5月30日（午前・午後）7時30分 至 令和5年 5月31日（午前・午後）7時30分
2 場 所	三重県多気郡多気町ガイッ672-1 大型商業リゾート施設VISON 三重県多気郡多気町1600 多気町役場、多気町議会 三重県伊賀市予野字鉢屋4713 三重中央開発 大阪府高槻市高槻町14-30 真庭市場1号店
3 用 件	多気町が誘致した、デジタル田園都市国家構想大型商業リゾート施設VISONの調査研究 多気町の企業誘致の取り組みと議会改革を調査研究 真庭市焼却灰の処分状況と三重中央開発の調査研究 真庭市場1号店視察
4 概 要	多気町のVISONでは広大な敷地の中を見ました。まずVISONのメインとなる特徴的な建物の中にマルシェがあり、伊勢地域でとれた深海魚などの鮮魚や、産直野菜、松阪牛など肉市場、BBQやレストランも併設されていて、買い物と食事ができるので、平日なのににぎわっていました。 そして、バスに乗って農園と本草湯という温泉を案内してもらい、農園も自社の社員で運営していて、作った野菜はレストランで使われています。温泉の薬草は、薬草研究所で作られて、年間72種類のお湯に入れます。ホテルやア



報告書（継紙）

リ工など他にも沢山の施設がありますが、それらが少しずつ離れていて、道を歩いて隣に行くという、村になっています。なので、美村（グイッ）と言うことです。総括本部本部長補佐の目野氏より説明を受けました。アクアイグニス代表笠原シェフが、どうしても一緒に組みたい辻口シェフとやれる場所を探して多気町に来た。伊勢神宮と熊野古道へ行く通過点で、車を逃がすために作られた勢和多気ICを降りてすぐ、当時ゴルフ場建設がとん挫した場所を一人の地権者が持っていたため、スムーズに購入できた。4つの企業が出資してくれ、多気町がデジタル田園都市構想の提案を国に採択されたことで町を巻き込んだ事業ができたようだ。コロナ禍でも年間350万人の来場者があり、目標は年間600万人だそうだが、十分行けると思いました。

多気町役場で、坂井議長、企画調整課より3名、デジタル戦略室より2名の方より説明を受けました。議長から、H18年の合併後初めて報酬を上げたが政務活動費は無いこと、初めて「町民と議会との意見交換会」を開催したが、人数はかなり少なかったし、やはり要望が多かったということです。

企画調整課清水係長は、真庭のバイオマスツアーに来られていて、蒜山や木質チップのことをご存じでした。VISONとの連携について説明され、アクアイグニスが辻口シェフと組んで伊勢神宮のあたりで大規模施設を作りたいということで開発協力締結し、町より薬草の活用を要望し、VISON内に薬草湯と研究所が完成、また、スペインのサンセバスチャン市と町が協定し3店舗が出店をしている。他にも企業を誘致し、工業団地も区画が埋まったため次を考えているということです。従業員は南三重地域で連携をし確保、分譲価格が周辺より安価とか他にも条件が良く企業が誘致しやすくなっている。池田係長より、多気町の説明を受け、多気は氣と書いて多くの命を育む場所、食べ物がたくさん採れるという意味。特産品が多く、相可高校がモデルのドラマ「高校生レストラン」は、実在の「まごの店」として高校生が運営して、ここから巣立った子が飲食業の道に多く進んでいるそうです。デジタル戦略室の三井係長より、デジタル田園都市国家構想に、提案し採択された経緯を聞き、多気町でもデジタル地域通貨「美村P A Y」に今年の1月から取り組まれ、20%のポイント還元

をしている。税の納付にポイントは有りかと同僚議員が尋ねたら、できそうだと言われた。真庭市も考えてほしいと思った。デジタル室には、民間から広域観光コーディネーターとして、日本旅行から荒井氏が招かれ、月に10日勤務しているそうで、同席してくれた。デジタル地域通貨は高齢者でも使えるようになっていくと言われた。それが当たり前の時代になっていくようだ。

最後に議場を見せてもらったが、大型のモニターがあり、執行部や議員が説明用に使っている。一人1台端末で、議会はケーブルTVやYouTubeで動画配信している。頑張っていると思った。

伊賀市の三重中央開発では、前山所長と視察担当の堂園氏が説明と施設を案内してくれました。大阪の和泉市から始まり、当初迷惑施設という住民の反対もあったが、しっかりとした管理をし、最終処分場の跡地に覆土し、公園やサッカー場を作り、住民に無料開放し、管理はずっと社員がしているということで交流を通して信頼関係が出来ている。伊賀市には焼却施設もなく、リサイクル施設が止める時に双方がまとまり広大な土地を所有して事業をしている。

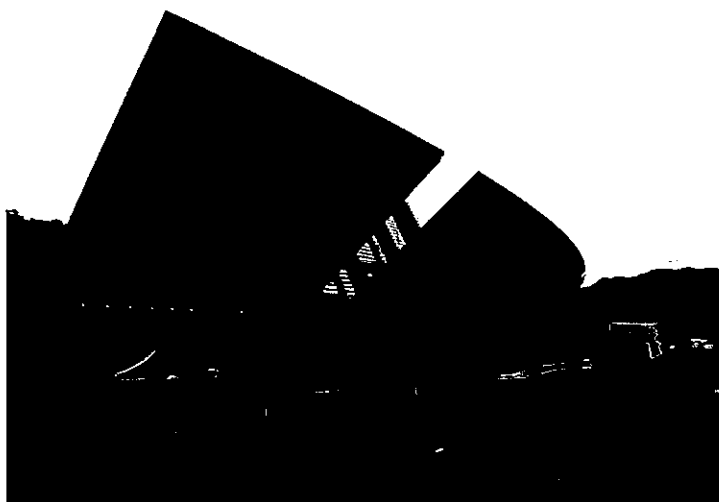
私も最終処分場という悪いイメージで視察に行ったが、丁寧な説明を聞くと、イメージが変わった。リサイクルできるものはやり、できないものは安全に埋め立てている。真庭市からの焼却灰は、もう一度1000度以上で消石灰を混ぜて焼却し、灰をコーティングすることで有害物質を閉じ込めているため、その灰は、雨にさらされても害なものは検出されないのと消石灰を混ぜることで固まりやすく、廃棄物を埋め立てた上に灰の層を作り段々に埋め上げていき、その上に覆土をして、施設を建てて行っている。最終処分場からで出る汚水は施設内の雨水も一緒に処理をして工場の冷却水などに利用して循環させるので、外に流すことはほとんどないそうです。500人の社員が働いていて、近く社員寮があり、その1階にコンビニを作り、住民も多く利用して喜ばれている。

三重中央開発がこの地に来てから、周りに企業が沢山来て、産業団地になって田んぼも周辺には沢山ある。民家が無かったことでこの地に誘致しやすかったということだが、廃棄物の危険性を言えば、田んぼも他の企業も寄り付かない施設なのに、企業の安全性に対しての努力のすばらしさだと思う。住民との交流の感謝祭も地域に受け入れられる要因だと思う。市の灰も貢献している。

高槻市の真庭市場 1 号店に初めて行った。駅の近くには有るが、一本隣の本通りとは通行人も少なく賑わった店舗もなく、住宅もあったり、こんな所？と思ったが、お店に入ってみると夕方 4 時だったが 10 人ばかりのお客がいて、1 時間弱滞在したが、ずっとお客が居る状態でした。店長の話によると、朝 8 時にトラックで商品が届くと、みんなで荷下ろしをして、10 時にオープンするときには凄い混雑で、今の時間は少ない。店舗のスペースも狭く特に、駐輪場のスペースが狭いため、近隣から苦情が多い。ピオーネの時期には、自転車が、20 台くらい道路にならぶので、警察に通報されたこともあるそうだ。どうかしたいが、今のところ方策が無いようだ。知名度も増えてきているようで、お客さんの数も増えているようだ。物価が高騰している中、旬の野菜を安価で買える。真庭市の農家さんにとっても消費者にとってもいいことだ。ただ、今後、ガソリンの高騰で運賃が上がれば、手数料の値上げをされると、農家さんの負担が増えるので、野菜の値段も上げざるを得なくなる。そこを市としてどう考えて行くかということになる。

今回の視察で、民間のアイデアと企業力の凄さとそれを応援する行政との連携が地域の活性化になっていると感じました。真庭市も企業を守るだけでなく、民間の発想を応援していく体制で、民間に頑張ってもらうことが、市の魅力に繋がると思いました。

多気町 VISON の マルシェ



VISION の 屋外エスカレーターと村の店々

VISION の ホテル



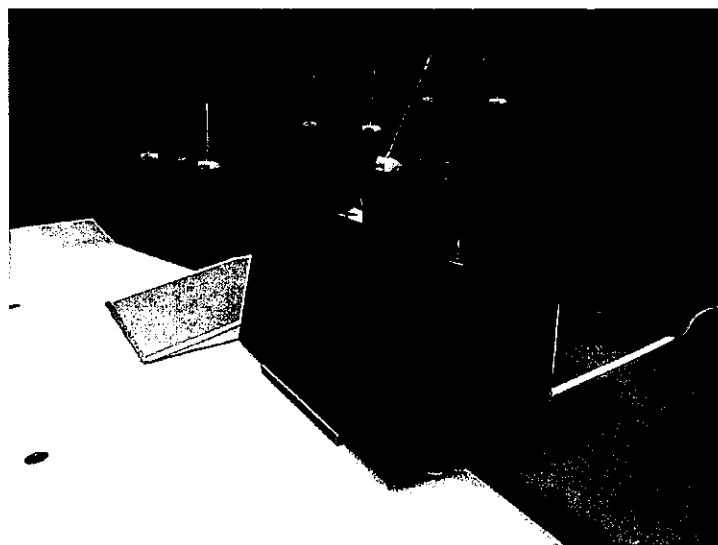
多気町役場での説明



多気町 議場の議席側モニター



執行部側モニター



伊賀市 三重中央開発で説明(所長)

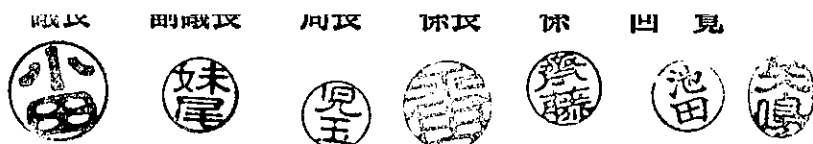


三重中央開発 最終処分場



真庭市場1号店 高槻市





様式第2号

報 告 書

令和 5 年 6 月 5 日

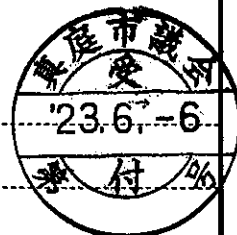
真庭市議会議長 小田 康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 森 脇 正 和



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和 5 年 5 月 3 0 日 (午前) 7 時 3 0 分 至 令和 5 年 5 月 3 1 日 (午後) 7 時 0 0 分
2	場 所	①三重県多気郡多気町ヴィソン672-1 大型商業リゾート施設VISON ②三重県多気郡多気町1600 多気町役場・多気町議会 ③三重県伊賀市予野字鉢屋4713 三重中央開発株式会社 ④大阪府高槻市高槻町14-30 真庭市場 1 号店
3	用 件	①多気町が誘致した、デジタル田園都市国家構想大型商業リゾート施設VISONの視察 ②多気町の企業誘致の取組と議会改革を視察 ③真庭市焼却灰の処分状況と三重中央開発の視察 ④真庭市場 1 号店視察



4 概 要

①人口15000人の多気町に2022年350万人が訪れる施設VISON（美村）の取組を目野ヴィソン多気㈱本部長補佐にお話しをお聞きしました。元々、ゴルフ場計画があった場所に食をテーマとした5のエリアで有名なシェフ、パテシエの料理が食べれたり、多気町の産品である薬草風呂、ホテルを併設している。テナントは、公募ではなくVISONが顧客を呼べる店舗を誘致して開店してもらっている。地元産直市場では、新鮮な野菜や海産物、肉類を販売。地元の農水畜産業に寄与している。高速道路にスマートインターチェンジと連結してさらなる集客を目指している。

②多気町役場企画調整課池田・清水・園田氏 デジタル戦略室三井・荒井氏

デジタル田園都市国家構想に申し込みしたのは、スーパーシティ構想に申し込みしたが漏れたためそのままの流れで申し込み採用を得た。

工業団地は、開発費用が見込みよりかからず周辺地域の工業団地より安価（3～5割安）のため完売。次の開発に動いているが、少子高齢化のため働き手の確保が課題。

定住促進対策として移住定住補助金を令和3年より実施。移住者には200万円、Uターン者は30万円加算、在住者は100万円。実績として令和3年度20世帯、令和4年度41世帯に支給。空き家バンク制度で平成27年度から令和4年度で38世帯の移住定住の実績。かなりの効果が得られていると感じた。デジタル通貨美村PAYにも令和5年1月から始まっているそうです。

多気町議会 坂井多気町議会議長

法定定数18名であるが現在11名。令和4年8月の任期より報酬をあげるが、成りて不足が顕著である。議会改革でタブレット導入、議場に大型モニター設置。町民との意見交換会を5月に2回開催するも参加者は低調であった。子供議会の開催も予定している。

③三重中央開発㈱ 三重事業所所長前山氏 営業本部堂園氏

焼却灰を1100℃の高温で焼成して無害化し、土木資材などに再資源化している。ごみのリサイクル率をあげて埋め立て率を今後も減らす予定である。社員寮の1階をコンビニにして地域貢献も果たしている。地元雇用率もかなり高い。迷惑施設の印象が高かったが、施設を見たり話しを聞くとその概念がなくなった。

4 概 要

④真庭市場1号店 株式会社オール真庭 木村店長

15時30分くらいにおじゃましたがお客も多く感じた。話を聞くと入荷時間から午前ままだお客が多いそうです。ピオーネの時期になるとお客でいっぱいになる。駐輪場がないので近隣の店舗から苦情が出ている。買い物をして徒歩というのも考えもので難しい問題であると感じた。売れ残りの商品も現在、返品しているが何か有効活用できないか考えさせられた。

園田 和俊

Kazutoshi Sonoda

企画調整課 企業振興係
主 査



多気町

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

多気町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600
TEL(0598)38-1124 FAX(0598)38-1140
URL <https://www.town.taki.mie.jp>
Mail k-sonoda@town.mie-taki.lg.jp



食と癒しのまち
多気町



三重県多気町議会

議長 坂井 信久

事務局 〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600
TEL: 0598-38-1120 FAX: 0598-38-1140
E-mail: gikai@town.mie-taki.lg.jp
自宅 〒519-2152 三重県多気郡多気町弟国173
TEL: 0598-38-2631 携帯: 090-2347-7235

多気町 企画調整課

地域政策係長

池田 有一

〒519-2181 三重県多気郡多気町相可 1600
TEL 0598-38-1124 FAX 0598-38-1140

URL: <https://www.town.taki.mie.jp>
E-mail ikedat@town.mie-taki.lg.jp



VISON

統括本部 部長補佐

目野 雅司

Masashi Meno

ヴィソン多気株式会社

〒519-2170

三重県多気郡多気町ヴィソン672番1 管理棟

TEL 0598-39-3190

Mobile 090-3969-3502

meno.m@vison.jp www.vison.jp

清水 靖人

Yasuto Shlmizu

企画調整課 企業振興係
係 長



多気町

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

多気町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600
TEL(0598)38-1124 FAX(0598)38-1140
URL <https://www.town.taki.mie.jp>
Mail shlmizu@town.mie-taki.lg.jp



食と癒しのまち
多気町



資源に負えるチカラ。自然に還すチカラ。

大栄環境グループ

取締役

三重事業所長

前山 泰彦

三重中央開発株式会社

三重リサイクルセンター

〒518-1152

三重県伊賀市予野字鉢屋4713番地

TEL (0595)20-1119(代)

FAX (0595)20-1398

E-mail: maeyama8228@dinsgr.co.jp

<https://www.dinsgr.co.jp/>

三井 諭

Satoshi Mitsui

デジタル戦略室 地域戦略係／三重広域連携スーパーシティ推進協議会
係 長



多気町

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

多気町は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600
TEL(0598)38-1118 FAX(0598)38-1140
URL <https://www.town.taki.mie.jp>
Mail s-mitsui@town.mie-taki.lg.jp

食と癒しのまち
多気町



資源に負えるチカラ。自然に還すチカラ。

大栄環境グループ

営業本部 関西営業部

グループリーダー

堂園 大輔

大栄環境株式会社

〒658-0032

神戸市東灘区向洋町中2丁目9番地1

神戸ファッションプラザ6F

TEL (078)857-4649(直通)

FAX (078)857-5255

請求部門

TEL (0570)03-5220

FAX (078)857-1113

携帯: 080-9303-3334

E-mail: douzono10480@dinsgr.co.jp

<https://www.dinsgr.co.jp/>

多気町 地域活性化起業人

広域観光コーディネーター

(デジタル田園都市国家構想)

荒井 克哉

〒519-2181 三重県多気郡多気町相可 1600
TEL 080-3439-8507

URL: <https://www.town.taki.mie.jp>
E-mail katsuya_ito@nta.co.jp



まにわいしば
Enjoy foods from Okayama

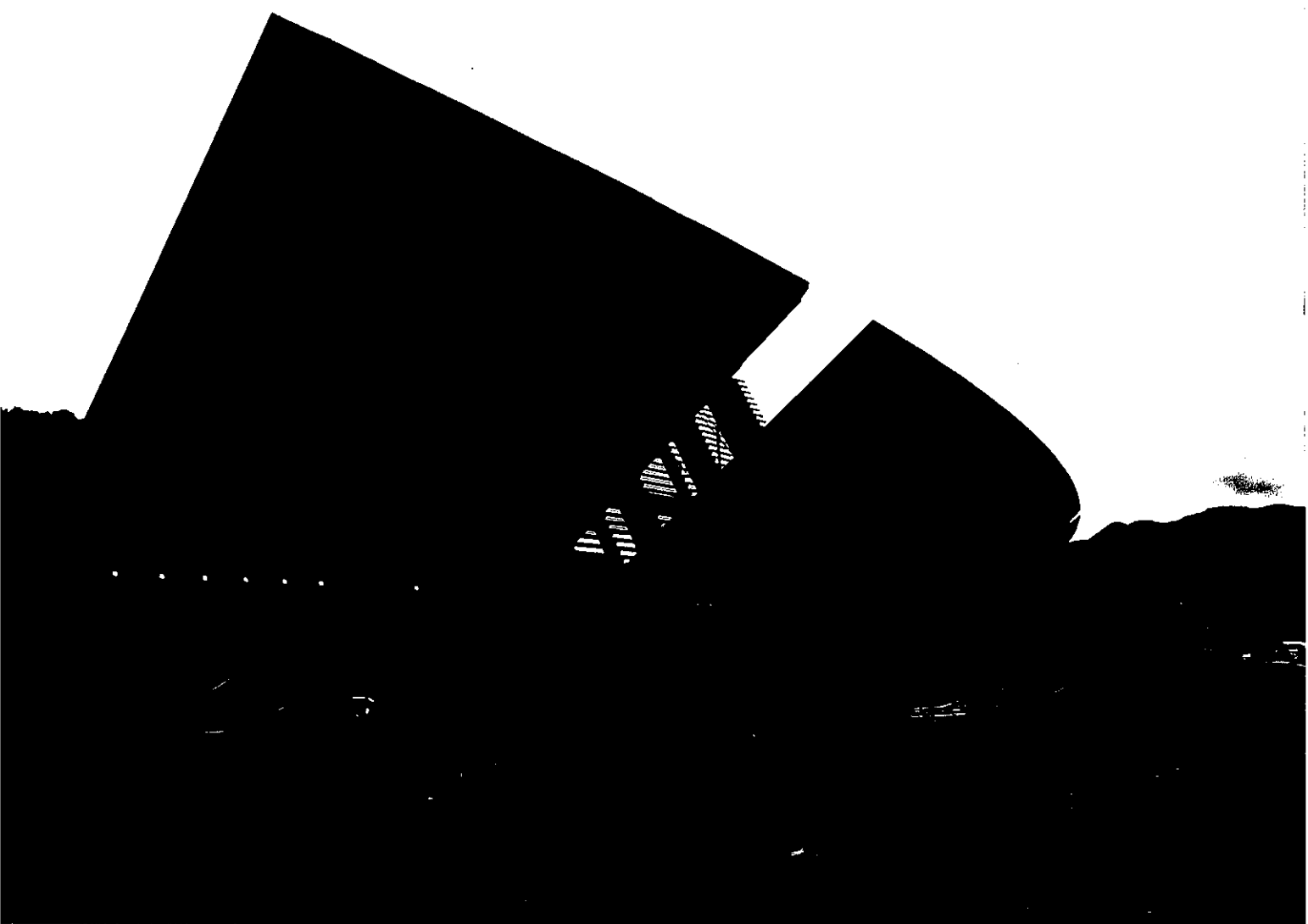
株式会社 オール真庭

木村 智

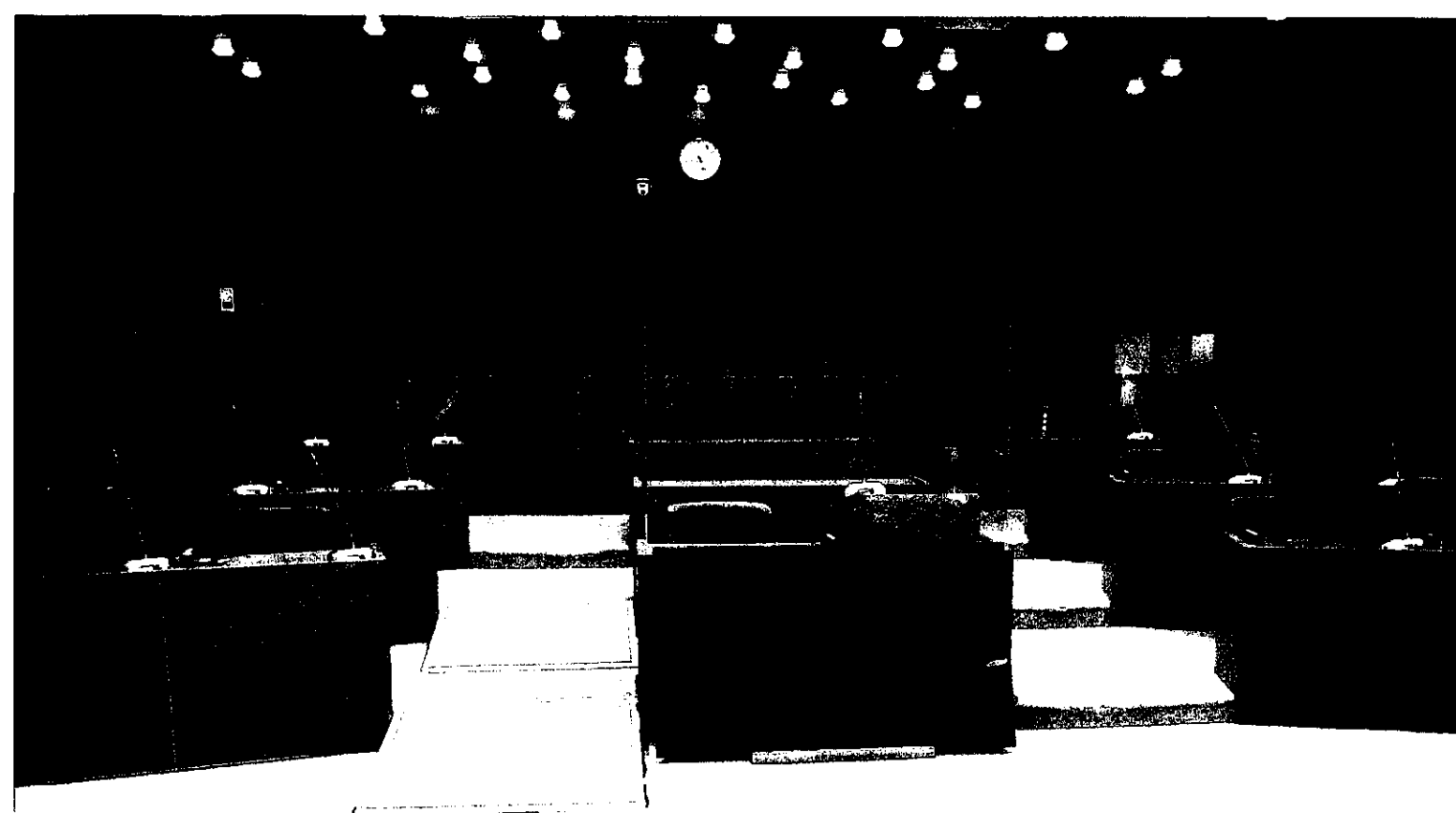
Satoshi Kimura

■本社 〒719-3115 岡山県真庭市中429-1 TEL/FAX 0867-45-0228

Mobile 080-3773-5523







議長側から見た議場



議長側から見た議場



前山所長と玄関前にて



前山所長より処分場の説明
を受ける

●ご来場の方は、必ず本事務所受付にて
入場手続きを済ませてから各館股へお入り下さい。



- ・堤内速度15km/h以下
- ・走行中はヘルメット・シートベルト着用と携帯電話使用不可
- ・停止線では一旦停止





真庭市場の様子



市長から説明を受け



報 告 書

令和 5年 6月 7日

真庭市議会議長 小田 康文 様

報告者 真庭市議会議員 氏名 氏平 篤正



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 令和 5年 5月 30日 (午 前・午後) 7時30分 至 令和 5年 5月 31日 (午前・午 後) 7時00分
2 場 所	①VISON(ヴィソン)の調査研究 ②多気町議会、多気町企画調整課・デジタル戦略室 ③三重中央開発 ④真庭市場1号店
3 用 件	①三重県多気町が誘致したデジタル田園都市国家構想、大型商業リゾート施設、VISONの調査研究 ②多気町議会の議会改革、議場見学。多気町の企画調整課：企業誘致の取り組み、多気町デジタル戦略室：町のデジタル化の取り組み ③真庭市の焼却灰の処分状況と三重中央開発(三重リサイクルセンター)工場現場の調査研究 ④真庭市場1号店(大阪高槻店)の視察・現状調査



4 概 要(調査研究レポート)

①VISON(ヴィソン)

15,000 人の町が誘致した施設に 350 万人が来ている、との情報でこの地を視察先に選んだ。食と健康をテーマにした「美しい村」づくり、ビソンである。だじゃれから名付けた。国のデジタル田園構想で取り組んだ事業、インターチェンジすぐそばのゴルフ場開発予定地を一気買い(敷地面積 35 万坪、所有者 1 人)して、料理人たちを繋ぐ、9つのエリアを完成させた 220 億円の事業で 600 万人の来客を目指している。コロナ禍の昨年が 350 万人、今年は 600 万人を越すだろう。CLT とかバイオマスでなく「食と健康」、誰でも分かるテーマであり人気を博している。現地案内は、バスとエスカレーターを使って 1 時間、そして説明が 1 時間だったが、今日は 4,000 歩あるきましたよ、と言っていた。気になった事のみを記してみる。

- ・三重県の農産物の直売所がずらりと並んでいる
- ・フランスパリのマルシェをイメージして造った
- ・世界一の美食の街スペインのサンセバスチャン市と友好の証を締結している
- ・一流シェフが買い付けに行く店を選んだ。間違いないと認識され客が増えている
- ・規格外の物はチップにして売り、ミキサーでジュースにして売る
- ・松阪牛の計り売りをする店もステーキハウスもある。BBQ が中でも外でもできる、手ぶらで来てできる
- ・ステーキは 150 g 5000 円だった
- ・水産物の館もある。和歌山直送の魚市場もあった。海女小屋もあった。冷蔵コインロッカーもあった

- ・雨の滝として屋根を長く出して雨トイがない。「ウタキ」と呼ぶ、雨の日を楽しむ、平日も楽しむ事を考え抜いた
- ・練り物の天ぷら、丸いたい焼き、各地のせんべいを食べたかった。広報嬢の案内だったので、立ち寄れなくて残念
- ・社長と町長は最初面識が無かった
- ・伊勢神宮の近くで三重の食材を使って何かしたかった社長と料理人と、企業誘致したい町長の思いが合致した
- ・酒蔵、出汁の家、味噌蔵、酢の家、等それぞれ試飲ができ、買える。建物が独立しており、実際作っている館もあった
- ・コンクリートの打ちっぱなしのホテル、無垢の木を基本としている三角屋根の建物。木はすでに紫外線劣化で色が変わっている
- ・リゾートホテルホテルは1泊2万〜25,000円と私には高い。
- ・山を開発した時に出土した黒の花崗岩、玄武岩を随所にデザインとして使っている、水路とかオブジェとかおしゃれ
- ・地盤が岩のため植栽はすべて低い木を採用している
- ・スイーツ、アート、米、甘味料、味醂、木育等それぞれワークショップもある
- ・健康の1番は温泉、山の上にある72種の薬草風呂がある。リピート客の為、定期的に薬草を変え、香りを楽しむ。入館料800円。天然温泉ではない
- ・和エリアには高級寿司、高級天ぷらの店もある
- ・山の斜面とか駐車場とかわざと完成させず、草の場所を残すなど山の中に居る感じを残している。駐車場も砂利の所がある
- ・企業が道を作り、出来上がって町に寄付して町道にした(国道と私道を直接つなぐのは法的に出来ないと聞いた。スマートインターチェンジ事業)

開催しており、芸能人も呼んでいる。共催者が地元の区長さんであり、挨拶もしている。大阪和泉市から規模を大きくするため、広い土地を買い事業を展開した。今は 70 万㎡に焼却炉、メタン処理、太陽光、木質バイオ、プラスチックリサイクル等々(資料添付)を持つ総合施設である。埋め立てれる土地はまだまだいっぱいある。

大きな灰の山がある訳だが、その周辺に工場がやって来て、工業団地が形成されている。私たちが心配しているダイオキシン、地下水のリン等々が浸透する事はない、営利目的の企業が近くに集まるという事で心配は皆無なのである。工場内ワンダーランドというテーマでコンクリートで作った動物や、壁に動物の絵、そして本物のヤギが草を食べている。…これらは小学 4 年生の環境学習の子供が喜ぶために作っている。久世の者は木山の焼却灰施設を知っているが、そのイメージは全くない、大企業の大型プロジェクト。伊賀市のごみ処理は、入札で取っているとのこと、これも立派。市職員、市議会議員の勉強先に推薦する。

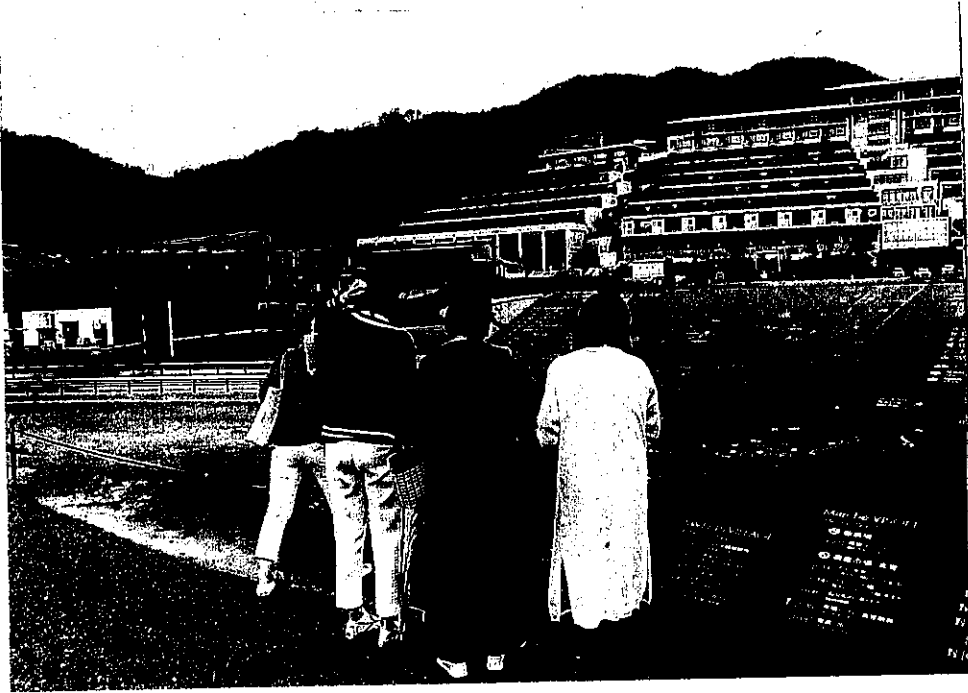
伊賀市はサッカーの街でもあり、なでしこリーグの「伊賀くノ一」のスポンサーでもある。前山所長も私も元サッカー選手であり、ワールドカップに行った日本代表の町野選手の活躍や忍者ポーズの話で盛り上がった。職員寮が月 1,000 円、最初は「ほんまかいな」と誰も来なかったが今は満杯であり、コンビニもできた。前山所長は 42 歳で職員がみんな若い、視察窓口の堂園さんは私達を迎える為に神戸から来ていた。敷地内をワゴン車で案内され説明を受けたが 45 分を要した、それだけ広い

真庭市場 1 号店

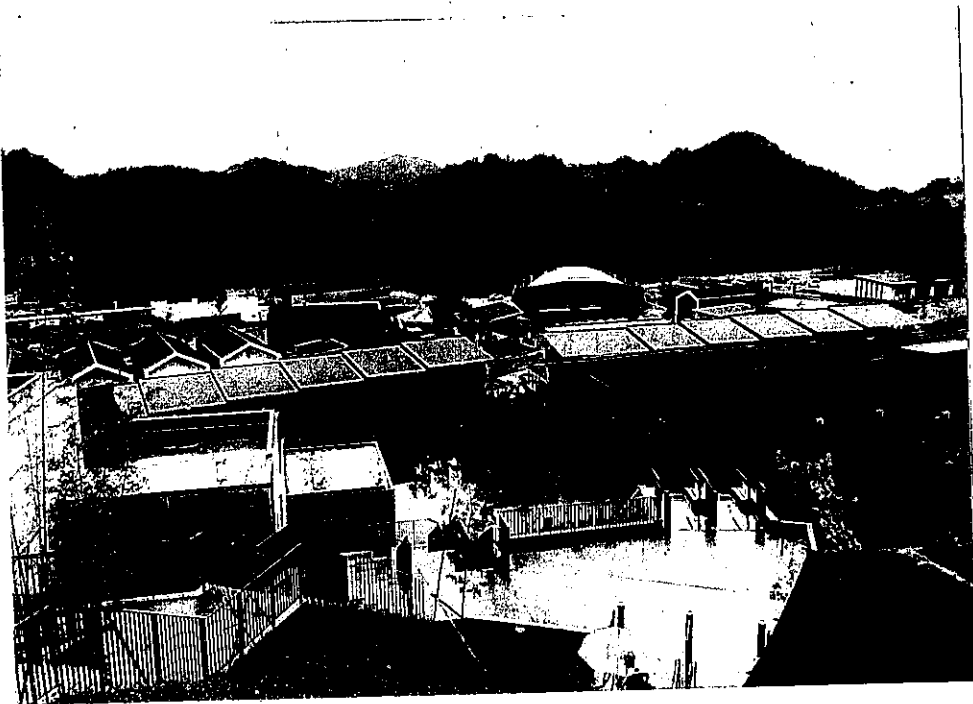
店長の木村智氏と話した。朝は自転車が 20 台位並び困っている。近所の苦情もあり、警察が来る時もある。これからピオーネの季節を迎え頭を悩ませている。近くに自転車置き場を確保できる土地はない。オール真庭から大型トラックが近くまで来て、積み替えて小型トラックで高槻市場まで来る。朝 8 時に着いたら農産物を並べ、夕方までに売りさばく、残った物は冷蔵庫に入れる。生産者の名前が入っているので、廃棄のタイミング、値引きするタイミングを懸命に考えている。下手をすると一気にその人の農産物は人気が無くなる。

10 年が経ち軌道に乗っており、広告を打たなくても売れるようになった、今はトントンです。と説明したが、金額は知らなかった。(市から運営補助金 900 万円、農家に出す 2.5%の手数料 358 万円を出している。:高槻・守山市場を合わせた額)店長は大阪の人。名刺住所は真庭市中 429-1(株)オール真庭・アグリガーデン内である。私個人は 4 回目の訪問である。

① VISON



黒の案内板 山の斜面にホテル 左が田道を渡る橋



ホテル側から下を見る 斜面にはエスカレーターがある



工事中に出た岩を上手に使用している

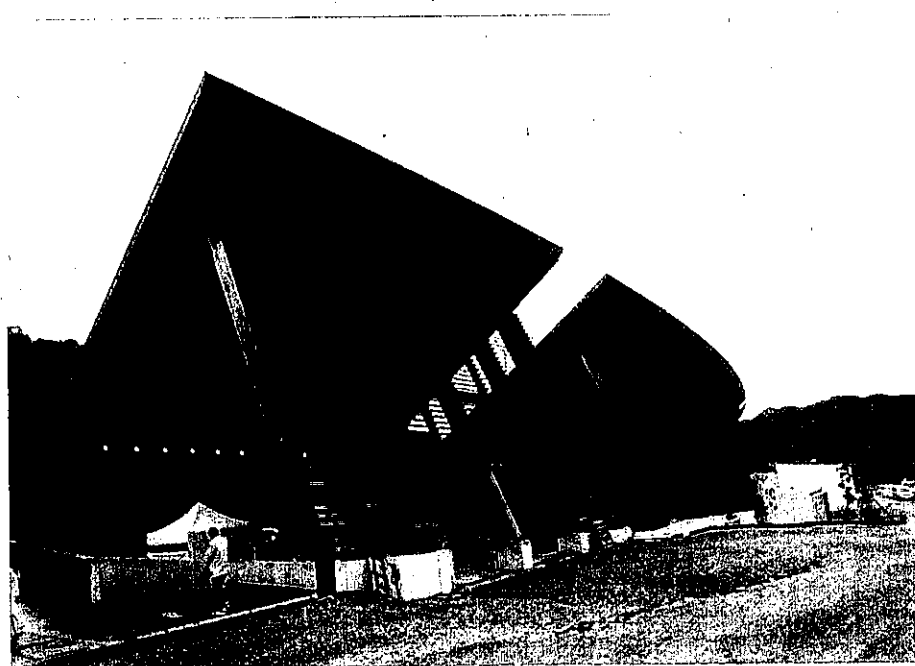


→ 白うの山が
きれいに見える

72種類の薬草にあわせ、広い畳の休けい堂に72本の竹がある



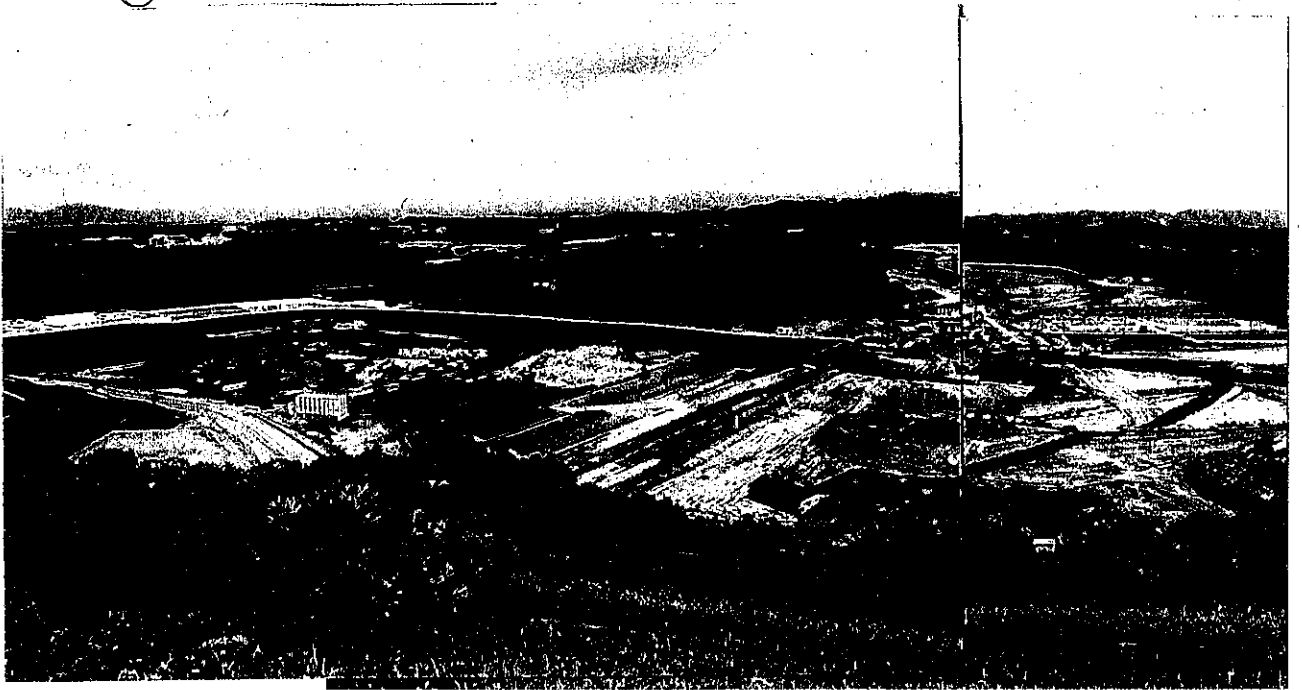
世界大会で数々の優勝経験を持つ辻 博啓シェフ
彼の他に15人の料理が集まり菓菜を展開している



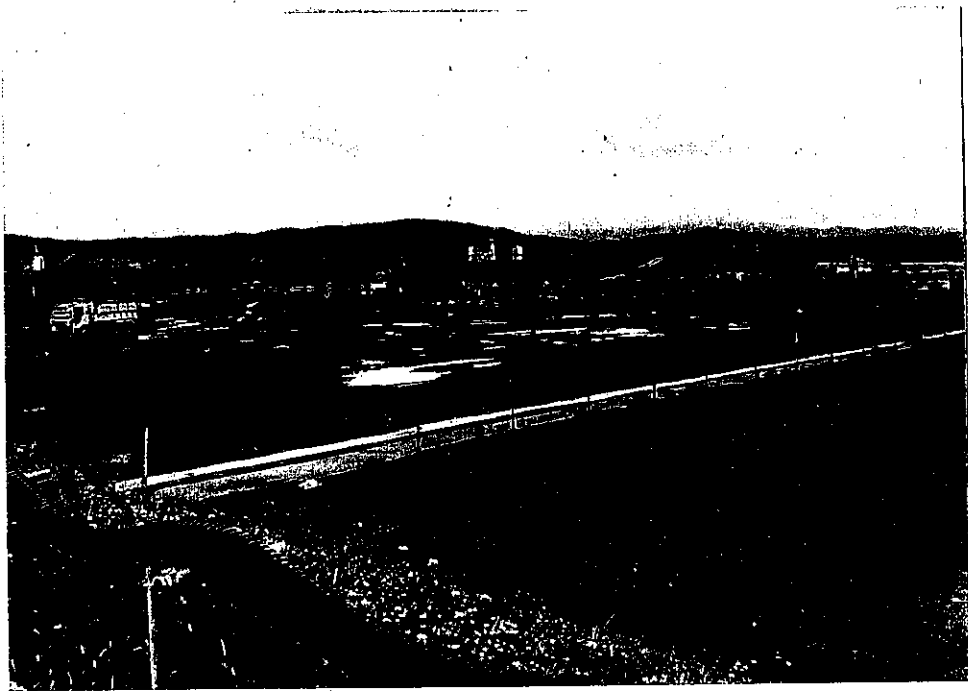
フランスパリのヌルジをイメージした造りが多い

② 三重中央南陸

→
がんじょうな
ビニールシート

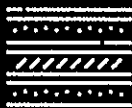


焼却灰を積み上げた山から下を見る。まだ「まだ」広、可能性が
ある

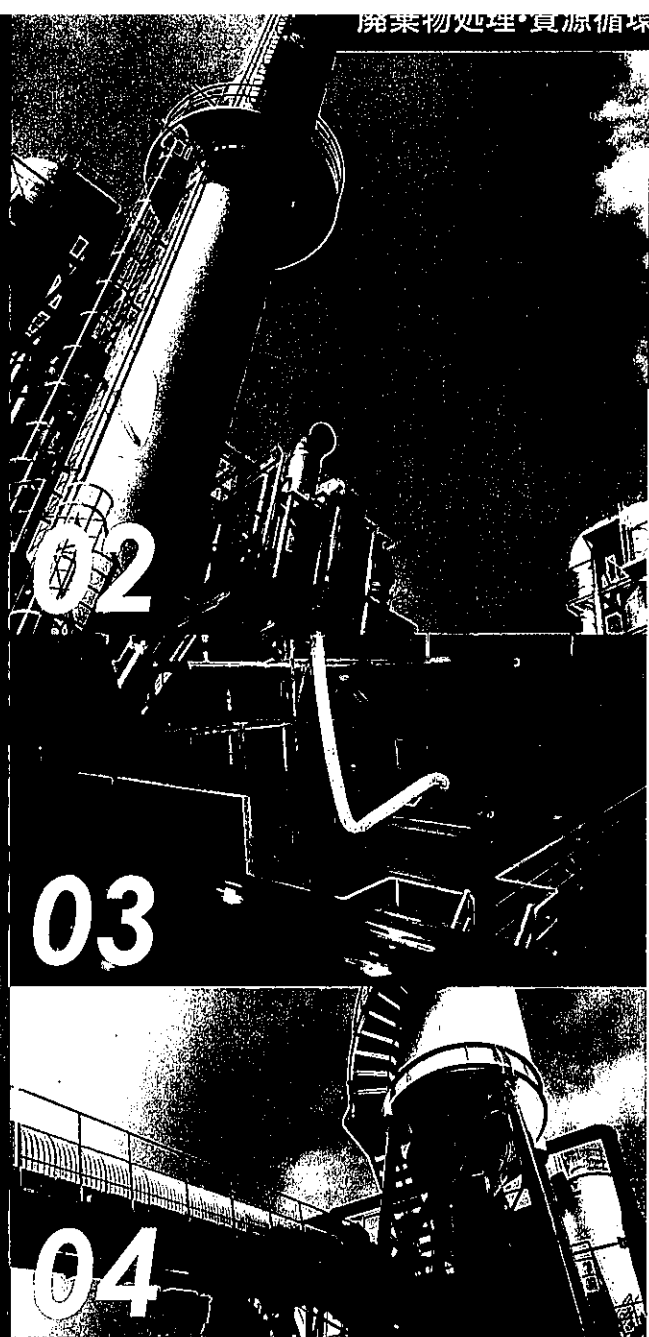


ここも焼却灰の積み上げの所、新黒ハイツは電気系

三重中央開発(株) 三重リサイクルセンター



70万㎡の広大な敷地に多種多様な廃棄物の処理を可能にするプラントが集結しています。グループ最大容量の管理型最終処分場運営と共に、ジオメルトや焙焼炉、トランスヒートコンテナシステムなど独自の方法で資源循環に取り組んでいます。



01 焙焼炉

処理能力：200t/日

焼却灰や汚染土壌を約1,100℃の高温で焼成して無害化し、土木資材などに再資源化。重金属・揮発性有機化合物等、有害物質に汚染された土壌の無害化・再生が可能で、PCB汚染土壌の浄化施設の許可も受けています。

03 RPF製造施設

処理能力：69t/日×2基(破碎・圧縮)、42t/日×2基(破碎・圧縮固化)

廃プラスチック類と紙くず等から、RPF(固形燃料)を製造。RPFは燃焼率が高く、化石燃料の使用量削減に貢献しています。

02 焼却(サーマルリサイクル)施設

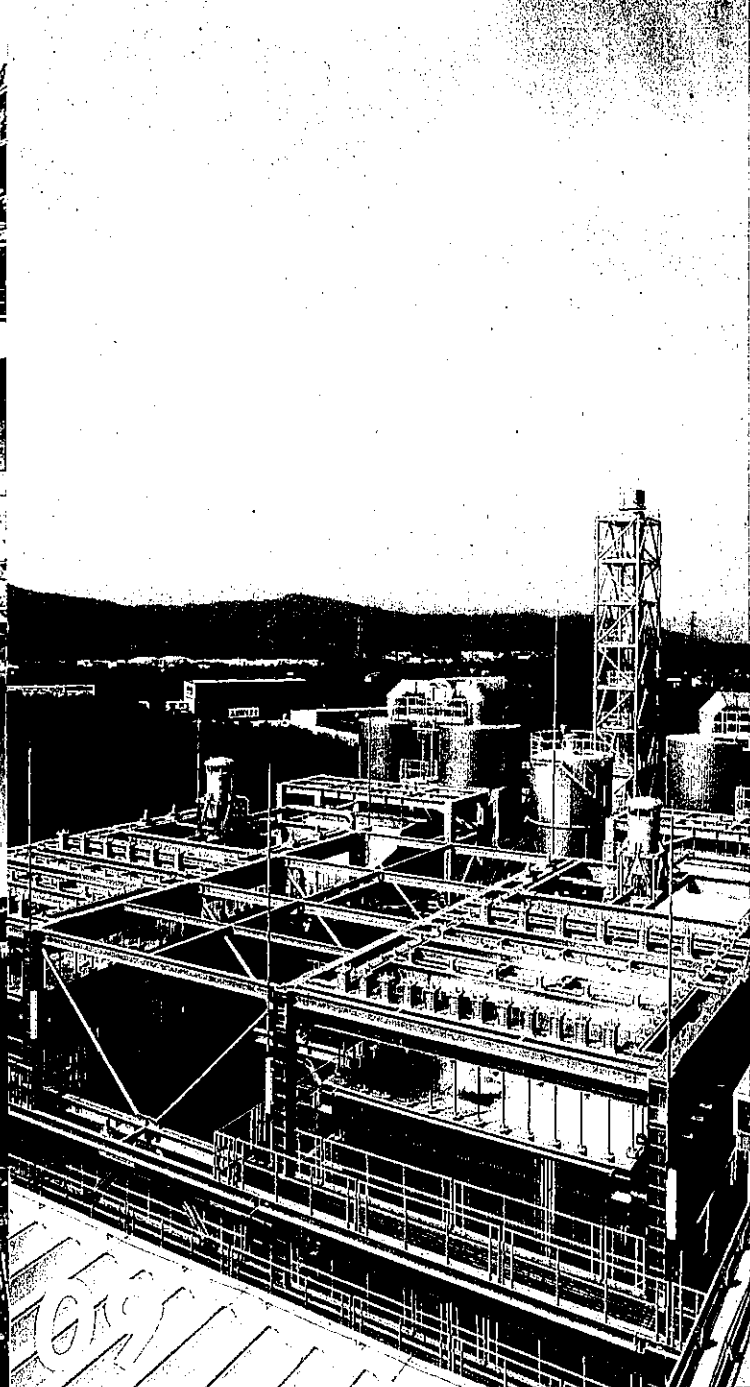
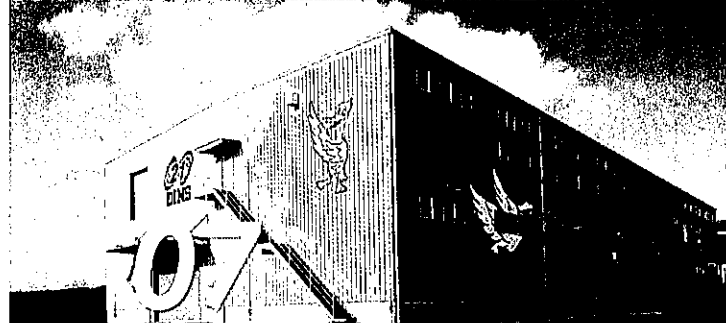
処理能力：130t/日(焼却)、90㎡/日(乾燥)

廃棄物の焼却時に発生する熱エネルギーを発電に利用し、事業所内に供給。またこの施設は、フロン排出抑制法に基づくフロン類破壊業者の許可を取得しています。

04 汚泥固化施設

処理能力：400t/日

汚泥を固化材と混合し、混練・造粒することにより再生処理土を製造する施設です。これにより処分場の埋立負荷低減に繋がり、汚泥が新たな資材として生まれ変わります。



05 電気機器 リサイクル施設

処理能力：30t/日

電気機器を手分解・破砕・剥離し、それぞれの組成ごとに回収。また、小型家電リサイクルやフロン回収にも対応しています。

06 プラスチック リサイクル施設

処理能力：36t/日

2022年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」第48条第1項第2号において、三重中央開発(株)が国内初となる認定を取得。排出事業者5社から排出される廃プラスチック類他、さまざまな廃プラスチック類をペレットに再資源化します。

07 Re.トランク施設

総床面積3,900㎡の広さを利用した製品廃棄物等の保管倉庫。監視カメラの設置など、建物全体のセキュリティを図っています。

08 ジオメルト無害化施設

処理能力：4.75t/日

ジオメルトは米国エネルギー省が開発した技術で、1,200℃～2,000℃のジュール熱により残留性有機汚染物、PCB、ダイオキシン、DDTなどの化学物質を無害化します。

09 エネルギープラザ

処理能力：318t/日×2基(焼却)、187t/日(焙焼)、100t/日(乾燥)、30t/日(炭化)

1日に636tの処理能力を有する焼却施設をはじめ、焙焼施設、乾燥施設、炭化施設を備え、排熱利用による約4,050kWの発電システムや地域へのエネルギー供給が可能なトランスヒートコンテナシステムを有する複合型リサイクル施設です。



10 管理型最終処分場

許可容量：12,807,077m³

リサイクルの過程で発生する残さ物や再生不可能な廃棄物を処分。浸出水については、水処理施設で薬品処理、生物処理、活性炭処理、膜処理により浄化しています。

12 アスベスト解体ライン

アスベストは断熱性、防音性など優れた特性から工業製品として広く利用されてきました。それらアスベスト含有製品の分解・回収を行っております。

11 蒸発濃縮結晶化設備

処理能力：300m³/日

水処理施設で浄化した水をさらに精製し、プラント用水として場内の各施設で利用しています。この設備により浸出水のクローズド化が実現し、水資源の循環につながっています。

他の施設

木材チップ製造施設

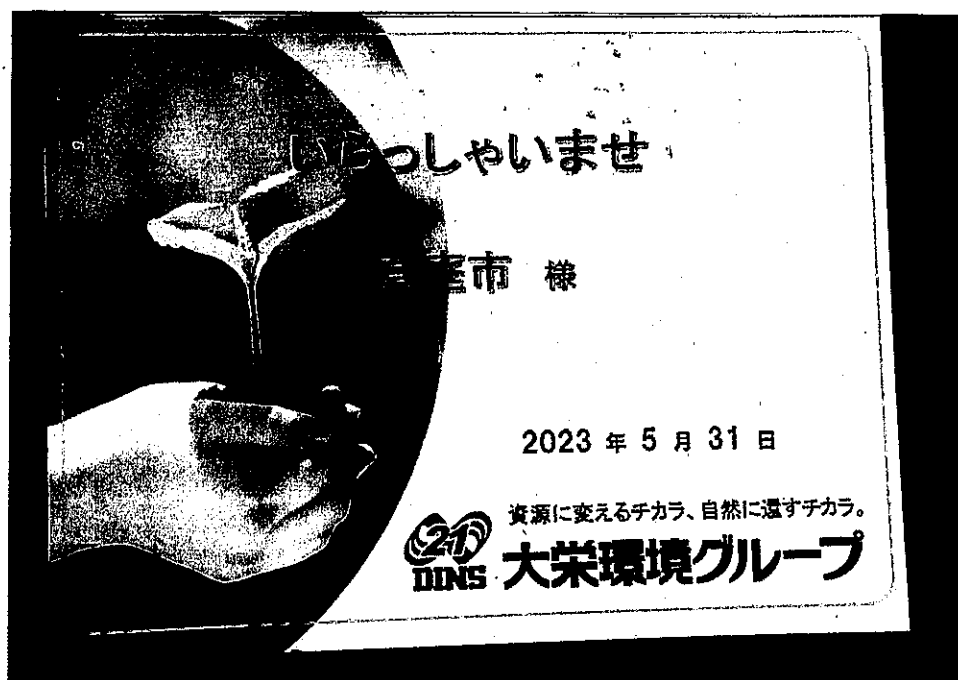
処理能力：250.56t/日(破碎)

破碎選別施設

処理能力：250t/日(Aライン)

破碎施設

処理能力：120t/日(Bライン)



玄関と会議室
のテレビ画面で
歓迎を受け:

21 DINS 三重中央農業株式会社



玄関前で前山
社長と撮影

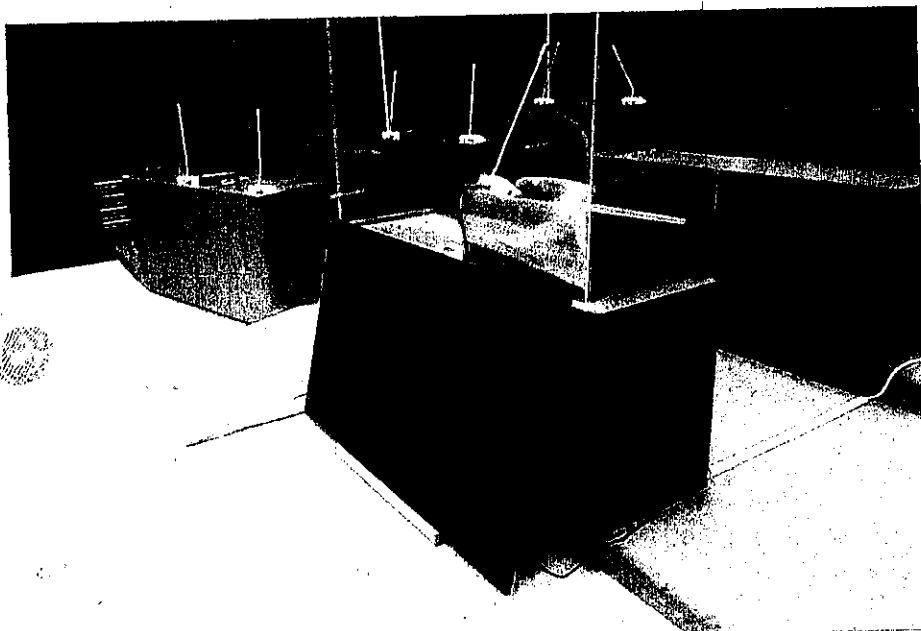


環境学習に身
子学生を喜ば
せため、113
とイキにる

③ 秋町議会 秋町役場

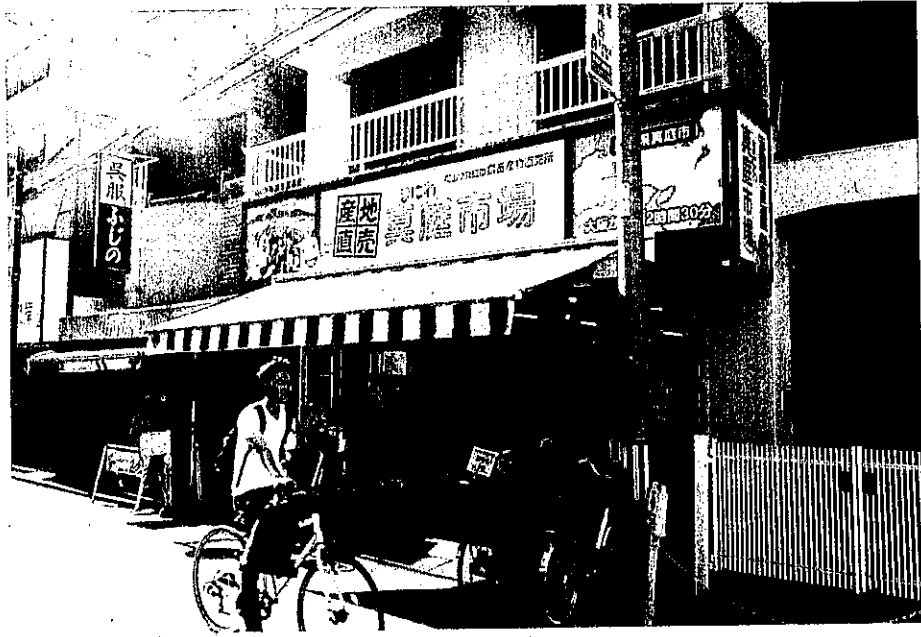


議長をはじめ大町から説明を受ける
(計7人)



議場の床に置かれている大型テレビ

④ 真庭市場1号店



防犯カメラ10人位のお客さんがいた
ここに20台位の自転車が並ぶと苦情がくるそう



店内は市内にある農産物市場と同じ